

# 大震災・復興ニュース（第18報）

平成23年8月18日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 管内の復興に向けた動き

### <水産漁港部からのお知らせ>

東日本大震災に関する平成23年度水産関係調査報告会（県南部地区）の開催  
東日本大震災後に宮城県水産技術総合センターが実施した調査等についての報告会が開催される。

- 1 開催日時 平成23年8月26日（金）13時30分～16時30分
- 2 開催場所 宮城県漁業協同組合 塩釜総合支所 2階大会議室
- 3 報告内容 県南部地区漁場のガレキ分布状況， 県南部地区の緊急漁場環境調査，  
水産物の安全確保に係る取組（放射能への対応）， 種ガキ採苗状況，  
ノリの今漁期の見通し， ワカメ種苗生産と技術指導，  
県南部地区秋サケふ化増殖事業への対応， 独法 水産総合研究センターの報告
- 4 参加申込 F A X（0225-97-3444）またはEメール（[mtsc-p@pref.miyagi.jp](mailto:mtsc-p@pref.miyagi.jp)）  
（8月22日（月）締切）

### 管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・ 県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業はすべて作業終了。
  - ・ 漁場の啓開作業は，5月23日から松島湾より着手し，潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で撤去作業を行っており，松島湾漁場については，浮遊物の撤去作業を終了し，引き続きコンテナの引き揚げ作業を予定している。
- また，仙台湾漁場では，6月28日から支障物撤去作業を行っているが，8月5日からは起重機船2台での作業を行っている。現在，閉上・亘理沖を実施中。

### 災害査定の実施状況

- ・ 3次査定については8月29日から9月2日までの5日間の予定です。
- ・ 申請箇所は，塩釜漁港で2箇所，磯崎漁港で4箇所，閉上漁港で7箇所，荒浜漁港で6箇所，桂島漁港で1箇所，計20箇所の予定です。

### <トピックス>

#### 浜市に番屋が完成

宮城大事業構想学部の竹内教授が企画した番屋プロジェクトにより，志津川に続き鳴瀬の浜市に番屋が完成した。

今後は浜市地区の生産者の打合せ場所等として活用される予定である。



浜市の番屋（写真は建築中のもの）

## しおがま・みなと復興市場が完成

被災商店や工場向けに仮設建物を貸し出す国の事業により、塩釜市海岸通のマリンゲート北側に「しおがま・みなと復興市場」が完成した。

1店舗の面積は約30㎡で20区画作られ、入居条件は家賃無料で2年間である。

20区画のうち12事業者の入居が決まって現在2事業者の入居準備が進んでおり、空き区画については再募集される。

### 塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の7月期水揚は、前月までに引き続き沖合底曳網船やまぐろ延縄船を中心に、数量で2,723トン、金額で898,859千円、前年同期比数量で1,737トン、金額で337,922千円の増であり、数量・金額ともに震災後最も多くなった。

主な漁業種類は沖合底曳網、まぐろ延縄、かつお・まぐろ旋網、大目流し網であり、数量・金額ともにこれまで石巻に入港していたかつお・まぐろ旋網が最も多くなっている（数量：1,071トン、金額：260,522千円）。

かつお一本釣り漁船も合計8隻入港した。（数量：203トン、金額：40,761千円）

塩釜市魚市場水揚状況					(ト,千円)	
月	平成23年		平成22年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,405	653,198	822	395,109	171%	165%
2	916	439,655	1,281	575,277	72%	76%
3	246	153,638	1,147	576,893	21%	27%
4	221	168,510	629	423,588	35%	40%
5	2,172	709,689	2,222	1,016,680	98%	70%
6	2,158	753,917	1,491	737,792	145%	102%
7	2,723	893,859	986	555,937	276%	161%
累計	9,841	3,772,466	8,578	4,281,276	115%	88%

### 災害復旧応援職員の紹介

大分県の南部にある佐伯土木事務所から災害応援に来ました、栗林です。大分県の南部は特に漁業が盛んで、リアス式海岸の地形は三陸海岸に似ていると思っています。比較的小規模な漁港が多いと思っていますが、県内110港（内県管理12港）の漁港があります。南部の佐伯市は数年前に、映画釣りバカ日誌のロケ地になったこともあります。（ちなみに自分は釣りをあまりしません。食べるのと飲むほうが専門です。）

応援に来て今日が2日目で、まだ現場には出ていませんが、通勤途中の舗装の陥没や、頻繁に起こる地震だけでも被災地を実感しています。

一ヶ月という短い間ですが少しでも被災地のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願ひします。



しおがま・みなと復興市場



栗林 亮さん